



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月31日

上場会社名 リケンテクノス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4220 URL <https://www.rikentechno.co.jp>  
代表者(役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 常盤 和明  
問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 高見 亮一 (TEL) 03-5297-1650  
四半期報告書提出予定日 2023年8月4日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	31,068	4.5	1,787	△13.0	2,226	△9.6	1,368	△9.4
2023年3月期第1四半期	29,721	19.5	2,055	24.0	2,461	36.8	1,511	31.9

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 3,287百万円( 28.7%) 2023年3月期第1四半期 2,553百万円( 7.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 21.63	円 銭 —
2023年3月期第1四半期	23.93	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	114,639	73,512	56.6
2023年3月期	112,002	72,165	56.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 64,895百万円 2023年3月期 63,196百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	9.00	—	16.00	25.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	12.00	—	13.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	61,000	2.5	2,900	△17.1	3,000	△25.7	1,700	△28.5	26.87
通期	128,000	3.6	7,600	1.2	7,800	△2.1	4,500	△1.3	71.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期1Q	64,113,819株	2023年3月期	64,113,819株
2024年3月期1Q	833,107株	2023年3月期	854,648株
2024年3月期1Q	63,267,567株	2023年3月期1Q	63,151,673株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当期四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染収束に伴い、個人消費の持ち直しや設備投資及び企業収益の改善が見られ、総じて緩やかな回復の動きとなりました。

海外では、欧米において高金利・高インフレの下で徐々に停滞感が強まってきているものの、個人消費や設備投資が増加したことで総じて持ち直しの動きとなりました。

産業別では、国内建材市場は住宅着工件数・非住宅着工件数共に前年同期比で減少したものの、当第1四半期連結累計期間の後半には回復傾向が見られました。自動車市場は半導体を起因とした部品供給問題等による生産制約の解消が徐々に進んだことで、中国以外で販売台数が増加しました。

このような環境の中、当社グループは中期経営計画「Challenge Now for Change New 2024 変革への挑戦」の2年目として、「グローバル経営の深化とシナジー」「顧客の期待の先を行く」「新規事業／新製品への挑戦」「環境／社会課題解決への貢献」の4つの戦略に基づいた施策の計画完遂に向け、グループ一丸となって取り組みました。

その結果、売上高は31,068百万円(前年同四半期連結累計期間比(以下「前年同期比」)4.5%増)、営業利益は1,787百万円(前年同期比13.0%減)、経常利益は2,226百万円(前年同期比9.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,368百万円(前年同期比9.4%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、各報告セグメントの名称、略称、対象とする主要な市場は、以下のとおりであります。

- ・トランスポーターション(Transportation)[TR]…自動車、鉄道、船舶市場等
  - ・デイリーライフ&ヘルスケア(Daily Life & Healthcare)[DH]…医療、生活資材、食品包材市場等
  - ・エレクトロニクス(Electronics)[EL]…エネルギー、情報通信、IT機器市場等
  - ・ビルディング&コンストラクション(Building & Construction)[BC]…住宅、ビル、建築資材、土木市場等
- (注)[ ]は、報告セグメントの略称

## &lt;トランスポーターション&gt;

国内では、自動車市場が回復し、同市場へのエラストマーコンパウンドの販売が増加し、増収となりました。

海外では、中国市場における日系自動車の生産低迷が影響し減収となりました。

セグメント利益につきましては、電力料等製造コストの上昇、中国の自動車生産減少に伴う販売の減少が影響し、減益となりました。

その結果、売上高は9,153百万円(前年同期比2.4%増)、セグメント利益は724百万円(前年同期比21.7%減)となりました。

## &lt;デイリーライフ&amp;ヘルスケア&gt;

国内では、市況の回復により、医療市場向けエラストマーコンパウンド及び外食市場向け小巻ラップ製品の販売増加により、増収となりました。

海外では、ASEANでの医療市場向け塩ビコンパウンドの販売が増加し、増収となりました。

セグメント利益につきましては、国内及び海外での販売が増加したことにより、増益となりました。

その結果、売上高は8,628百万円(前年同期比9.6%増)、セグメント利益は615百万円(前年同期比64.2%増)となりました。

<エレクトロニクス>

国内では、機能性フィルムの拡販が進んだものの、半導体及び電力・産業電線市場等の減速により塩ビ・非塩ビコンパウンドの販売が減少し、減収となりました。

海外では、中国・米国市場での塩ビコンパウンドの販売が減少しましたが、ASEANでの塩ビコンパウンドの販売が増加し、増収となりました。

セグメント利益につきましては、国内市場及び中国・米国市場での販売減少により、減益となりました。

その結果、売上高は6,550百万円(前年同期比8.5%増)、セグメント利益は255百万円(前年同期比28.6%減)となりました。

<ビルディング&コンストラクション>

国内では、住宅市場は弱含みで推移したものの、非住宅市場向け塩ビコンパウンド及びフィルムの販売が増加し、増収となりました。

海外では、主に建材市場の市況の悪化により米国及びタイ国での塩ビコンパウンドの販売が減少、EU及び米国でフィルムの販売が減少し、減収となりました。

セグメント利益につきましては、海外市場の低迷による販売減少により、減益となりました。

その結果、売上高は6,733百万円(前年同期比1.7%減)、セグメント利益は173百万円(前年同期比52.6%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は114,639百万円(前連結会計年度末比2,637百万円増加)となりました。これは主に売掛金等の売上債権、投資有価証券が増加したこと等によります。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は41,127百万円(前連結会計年度末比1,289百万円増加)となりました。これは主に支払手形及び買掛金、繰延税金負債が増加したこと等によります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は73,512百万円(前連結会計年度末比1,347百万円増加)となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が増加したこと等によります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点では外部環境による不確定要素等が大きいこともあり、2023年5月1日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,481,932	22,795,897
受取手形	1,306,391	1,241,475
売掛金	22,180,311	22,992,446
電子記録債権	5,008,505	5,044,975
商品及び製品	9,678,717	9,982,612
仕掛品	961,462	1,179,321
原材料及び貯蔵品	8,094,251	8,144,502
その他	1,040,115	1,000,656
貸倒引当金	△83,749	△83,747
流動資産合計	71,667,937	72,298,139
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,464,642	10,945,802
機械装置及び運搬具（純額）	7,963,520	7,737,076
土地	6,439,554	6,468,770
リース資産（純額）	57,020	62,316
建設仮勘定	1,512,427	1,740,992
その他（純額）	640,541	720,417
有形固定資産合計	27,077,707	27,675,375
無形固定資産		
のれん	5,820	5,456
リース資産	5,173	4,650
その他	2,275,719	2,258,160
無形固定資産合計	2,286,713	2,268,267
投資その他の資産		
投資有価証券	8,777,528	10,278,980
長期貸付金	1,905	1,788
退職給付に係る資産	811,947	816,363
繰延税金資産	441,121	439,819
その他	940,216	863,607
貸倒引当金	△2,320	△2,399
投資その他の資産合計	10,970,399	12,398,159
固定資産合計	40,334,820	42,341,801
資産合計	112,002,757	114,639,941

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,193,377	21,642,174
電子記録債務	467,511	253,066
短期借入金	7,718,267	8,003,495
1年内返済予定の長期借入金	552,457	552,447
リース債務	16,456	16,274
未払法人税等	640,838	667,690
賞与引当金	807,030	410,117
役員賞与引当金	92,721	26,014
その他	2,387,457	3,265,744
流動負債合計	33,876,116	34,837,026
固定負債		
長期借入金	2,260,070	2,130,313
リース債務	30,639	31,699
繰延税金負債	1,877,146	2,363,296
役員株式給付引当金	200,788	214,086
退職給付に係る負債	1,157,941	1,126,955
資産除去債務	335,742	336,977
その他	99,078	86,988
固定負債合計	5,961,407	6,290,316
負債合計	39,837,524	41,127,342
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,514,018	8,514,018
資本剰余金	6,597,580	6,597,580
利益剰余金	41,463,280	41,793,419
自己株式	△406,095	△395,127
株主資本合計	56,168,784	56,509,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,904,961	5,959,508
為替換算調整勘定	2,159,985	2,460,166
退職給付に係る調整累計額	△37,713	△34,437
その他の包括利益累計額合計	7,027,233	8,385,237
非支配株主持分	8,969,215	8,617,469
純資産合計	72,165,232	73,512,598
負債純資産合計	112,002,757	114,639,941

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	29,721,050	31,068,365
売上原価	24,529,706	26,064,284
売上総利益	5,191,344	5,004,081
販売費及び一般管理費	3,135,995	3,216,811
営業利益	2,055,349	1,787,269
営業外収益		
受取利息	6,272	13,388
受取配当金	112,878	148,003
為替差益	286,524	259,166
その他	38,393	101,876
営業外収益合計	444,068	522,435
営業外費用		
支払利息	26,250	62,259
貸与資産減価償却費	7,749	1,958
その他	3,965	19,108
営業外費用合計	37,965	83,325
経常利益	2,461,452	2,226,379
特別利益		
固定資産売却益	708	1,181
特別利益合計	708	1,181
特別損失		
固定資産売却損	-	19
固定資産除却損	167	6,308
特別損失合計	167	6,327
税金等調整前四半期純利益	2,461,993	2,221,232
法人税等	625,306	492,512
四半期純利益	1,836,687	1,728,720
非支配株主に帰属する四半期純利益	325,601	360,232
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,511,086	1,368,488



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,836,687	1,728,720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△657,438	1,054,632
為替換算調整勘定	1,373,121	500,926
退職給付に係る調整額	1,582	3,276
その他の包括利益合計	717,266	1,558,835
四半期包括利益	2,553,953	3,287,555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,731,252	2,726,492
非支配株主に係る四半期包括利益	822,701	561,063

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

## (追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

## (1) 株式給付信託(BBT)

当社は、2016年6月24日開催の第87回定時株主総会決議に基づき、業務執行をする取締役(監査等委員である取締役を除く。)及び執行役員が、中長期的な業績の向上及び企業価値の増大に貢献する意識を高め、業務執行をしない取締役(監査等委員である取締役を除く。)及び監査等委員である取締役が、監督または監査を通じた中長期的な企業価値の増大に貢献することを目的として、新たな株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」を2016年9月14日より導入しております。

## ①取引の概要

当社グループは、あらかじめ定めた役員株式給付規程に基づき、取締役等(取締役及び執行役員)に対しポイントを付与し、退任時に受益者要件を満たした者に対し、付与されたポイントに相当する当社株式を給付いたします。給付する株式については、あらかじめ当社が拠出した金銭により信託銀行が将来給付分も含めて第三者割当による自己株式を譲受し、信託財産として分別管理しております。

## ②信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は前連結会計年度末270,072千円、587千株、当第1四半期連結会計期間末270,072千円、587千株であります。

## ③総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

該当事項はありません。

## (2) 株式給付信託(従業員持株会処分型)

当社は、2021年2月22日開催の取締役会の決議により、従業員の福利厚生増進及び当社の企業価値向上に係るインセンティブの付与を目的として、「株式給付信託(従業員持株会処分型)」(以下、「本制度」といいます。)を導入しております。

## ①取引の概要

本制度は、「リケンテクノス従業員投資会」(以下、「持株会」といいます。)に加入するすべての従業員を対象に、当社株式の株価上昇メリットを還元するインセンティブ・プランです。

信託の設定後5年間にわたり持株会が取得する見込みの当社の当社株式を、本制度の受託者である信託銀行が予め一括して取得し、持株会の株式取得に際して当社株式を売却していきます。信託終了時まで、信託銀行が持株会への売却を通じて本信託の信託財産内に株式売却益相当額が累積した場合には、それを残余財産として受益者適格要件を充足する当社従業員持株会会員に分配します。また当社は、信託銀行が当社株式を取得するための借入に対し保証をしているため、信託終了時において、当社株価の下落により当該株式売却損相当の借入残債がある場合には、保証契約に基づき当社が当該残債を弁済することとなります。

## ②信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は前連結会計年度末135,858千円、266千株、当第1四半期連結会計期間末124,740千円、244千株であります。

## ③総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

当第1四半期連結会計期間末132,112千円

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	TR	DH	EL	BC	計				
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	8,937,017	7,872,125	6,038,171	6,852,024	29,699,338	21,711	29,721,050	—	29,721,050
外部顧客への売上高	8,937,017	7,872,125	6,038,171	6,852,024	29,699,338	21,711	29,721,050	—	29,721,050
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	47,465	47,465	△47,465	—
計	8,937,017	7,872,125	6,038,171	6,852,024	29,699,338	69,177	29,768,516	△47,465	29,721,050
セグメント利益	924,770	374,756	358,426	365,716	2,023,670	12,886	2,036,556	18,793	2,055,349

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原材料の仕入・販売等であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去18,793千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	TR	DH	EL	BC	計				
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	9,153,835	8,628,348	6,550,608	6,733,916	31,066,709	1,656	31,068,365	—	31,068,365
外部顧客への売上高	9,153,835	8,628,348	6,550,608	6,733,916	31,066,709	1,656	31,068,365	—	31,068,365
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	518,407	518,407	△518,407	—
計	9,153,835	8,628,348	6,550,608	6,733,916	31,066,709	520,063	31,586,772	△518,407	31,068,365
セグメント利益	724,386	615,342	255,928	173,526	1,769,184	58,976	1,828,160	△40,891	1,787,269

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原材料の仕入・販売等であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△40,891千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。